

新型コロナウイルス対応緊急要望書（その5）

国は感染状況の判断材料となる6指標で4段階にわかりやすく分類されました。今後も早い段階で対策を打ちステージが上がらないように注意する必要があります。ステージ、指標、対策をワンパッケージとして減少させていくように、影響が長期化している現在、生活支援や雇用維持、事業継続支援、医療提供体制の強化など、迅速かつ適切に市民に提供出来るよう要望いたします。

記

1 正しく怖がるための情報提供について

- 東京都では感染者が増え高止まりの状況ではありますが、都下の西多摩地域では、東京都でありながら感染者が軒並み増えている状況ではなく、その観点からも、現在西多摩全域が見直されている。今後この括りとしても情報提供を検討して欲しい。
- 軽症者や無症状の場合で医師が入院を必要でないと判断した場合などは、自宅療養が適切に実施されることが求められており、それを認める条件等が感染対策を含め定められた。これに伴う、濃厚接触者に感染させないノウハウなどを市民へわかりやすく周知すること。
- マスクは飛沫の拡散予防に有効であり、「新しい生活様式」でも基本的な感染対策であるが、心拍数や呼吸数、血中二酸化炭素濃度、体感温度が上昇するなど、身体に負担がかかることもある。高温や多湿といった環境下でのマスク着用は、熱中症のリスクが高くなるおそれがあるので、屋外で人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合には、マスクをはずすようにする習慣化の周知をお願いしたい。

2 高齢者施設への支援について

- 感染予防の支援として全国的にコロナウイルスの感染、熱中症、今後予想されるインフルエンザなどに対する感染予防対策経費が必要になることから、支援を出来るように進めること。

3 ひっ迫している業界への支援について

- 今まで補助対象から外れてきた、タクシー業界は公共交通の一助を担いながら、状況は厳しい。この際駐車施設利用料の免除を実施して頂きたい。
- 運転代行サービスなど、飲食業に伴う業界も同様に厳しい状況下であり何らかの支援をお願いしたい。
- Go To トラベルキャンペーンで東京都は除外となったが、市内宿泊を伴う業界はキャンセルが相次ぎ厳しい状況が続いており、何らかの支援をお願いしたい。

4 感染予防としての呼びかけについて

- 家庭、学校に置ける感染予防としてのうがい、手洗い、マスクの活用うがいを励行するなど感染予防が有効とされているが、熱中症対策も深刻な課題であり、適切な行動を呼びかけて頂きたい。

5 医療機関、福祉関係施設への支援について

- 東京都の要請に出来る限り応えてきた阿伎留医療センターの支援について、構成自治体の病院議会へ、今後も継続して安定的に地域医療を提供できるよう、現状の状況を踏まえ、東京都に対し貸付制度を設けることなどの要望書を提出した。それに対して市にも検討を進めるように取り組んで頂きたい。